

ICTによる重度障害者の 遠隔就労支援について 事例紹介



3Rマテリアルセンター
就労継続支援B型事業

事業説明

- ・社会福祉法人ぷろぼの

障がいのある方へ、就労の機会提供し働くために
必要な知識や社会適応能力などスキル向上のため、
職業訓練を行っています。



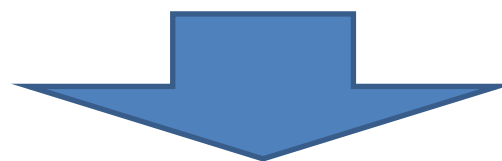
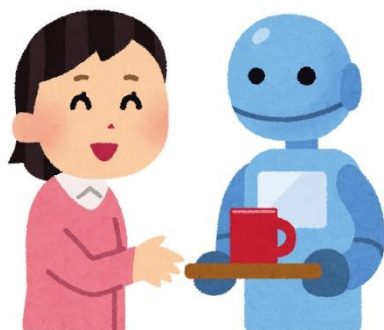
第3回の話題では...

障がいが重い方や、
様々な理由で外出が困難な方
就労の機会が少なく、
社会との接点も取りにくい。



・アバター就労

ロボット活用事例 & メタバース活用事例



遠方他県から、就労継続B型
在宅就労利用を実現した。

前回資料： みいちゃんのお菓子工房様

- 場面緘黙症

家での生活は日常問題が、外出先で動けなくなり、会話も困難になる。

- メタバースでの目標

対面では対話が難しいが、仮想空間でならストレス無く交流ができる。

- 成果

イベントごとに、出来る事が増え想像以上の行動力が目覚める。

リアルでは難しかった、複数の友人を作りメタバース内で行動を共にしている。

商業的にも、グッズ販売も増え、DAOメンバーのモチベーションの原動力ともなる。



アバター



メタバース店舗



リアル店舗

同期

ぶろぼの就B利用の経緯

お名前: 未来さん

埼玉県三郷市在住

重度身体障がい、場面緘黙症

2024年3月より就労継続支援B型利用

埼玉県から在宅就労中。

・経緯

以前までは、生活介護事業所に通所。

主な介護者である母が倒れてしまい、通所することが困難となる。

メタバースイベントで田村との出会いがあり、三郷市役所相談したところ、利用に繋がる。



三郷市 障害福祉課からのコメント

- 事業所が就労継続支援B型へのサービスを提供するにあたり、厚生労働省より提示されている提供要件を満たしていること。
- 本人が、就労継続支援B型の在宅就労を強く希望していること。

- 1.本人とオンライン対面が可能であること。
- 2.本人ご家族、三郷市内の計画相談事業所と連携し、緊急時対応取れるよう両者了解していること。
- 3.本人が安心できる自宅で就労が可能であること。
- 4.本人がSCファームが実施する在宅支援について好感触を得ていること。



これらを総合的に勘案し、支援効果が認められると判断、支給決定に至りました。

日常の業務と効果

・在宅業務

企業との連絡調整

メタバース契約先の保守業務

イベント企画運営

告知・報告用動画作成とアテレコ



奈良デジタルメッセ出展時、
地声で会話が出来ました！！
障害が無くなった瞬間でした！

重度障がい者就労支援 ぶろぼの出来る事

★可能となった事

ICT発展により就労困難者が、在宅で仕事ができる時代。

- ・2019年には、テレワーク就労訓練を開始
- ・在宅雇用、企業とマッチング

★取り組む課題

県内の潜在的な課題

- ・脊髄損傷による障がい者の潜在的ニーズ
- ・不登校児童への支援

在宅就労の課題

- ・ITC活用し在宅就労が出来る企業が都市圏に多い
- ・地方では在宅就労の理解が進んでいない場合がある

以上です。
ご清聴有難うございました。



3Rマテリアルセンター
就労継続支援B型事業